

民主島根

2016年
2.14
第1256号

発行所 松江市袖師町3-6 TEL 0852-24-2444
日本共産党島根県委員会 FAX 0852-24-6369

戦争法廃止署名20万人達成しよう 総がかり実行委が宣伝行動 後藤県委員長、上代書記長らが参加

6日、松江市で戦争法廃止をめざす「しまね総がかり行動実行委員会」の初めての宣伝・署名行動が行われました。2000万署名の県目標20万筆達成へ、寒風吹きすさぶ中、42人が参加し、駅前には署名板を持つ人でいっぱい。



写真上・松江テルサ前で2000万署名行動に取り組む参加者ら。
写真右下・みぞれ交じりの中、出雲市役所前でのアピール行動。



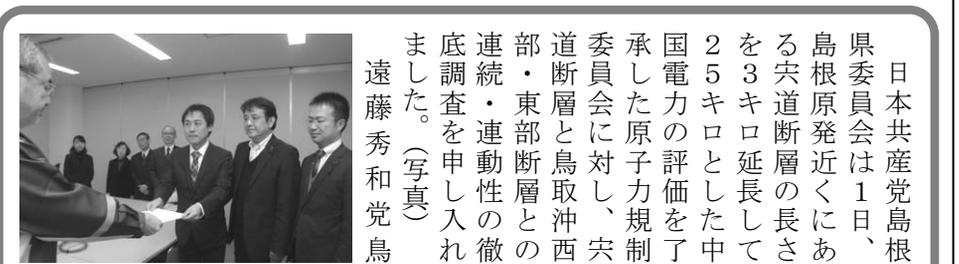
島根大学の教員や学生、医師、団体の代表らが次々にマイクを握り、「愛する家族、知人が戦争に行くことになるかもしれない」「世界に誇る憲法が変えられようとしています」などと訴え、署名を呼びかけました。

春名 議員がビデオメッセージ

日本共産党米子市委員会と同米子市後援会は7日、米子市で「新春のつどい」(写真)を開き、遠藤秀和党鳥取・島根国政対策

名が集まりました。日本共産党から後藤勝彦県委員長、上代善雄書記長らが参加しました。「しまね総がかり」は引き続き「9」の付く日に宣伝戦争法廃止を訴えました。

米子・新春のつどい



島根原発周辺の活断層の徹底調査を 遠藤氏、尾村・大国県議らが規制委に要請

日本共産党島根県委員会は1日、島根原発近くにある宍道断層の長さを3キロ延長して25キロとした中国電力の評価を了承した原子力規制委員会に対し、宍道断層と鳥取沖西部・東部断層との連続・連動性の徹底調査を申し入れました。(写真) 遠藤秀和党鳥

2000万署名目標達成必す

松江、出雲で交流集会

戦争法廃止2000万署名の目標達成に向けて、県内各地で集会が開かれ、署名推進の取り組みが広がっています。

松江・キックオフ集会

松江保健生協の職員らでつくる「戦争法・憲法改悪を許すな共同行動実行委員会」は1月27日、シ



ールズ関西のメンバー3氏を招き、戦争法廃止署名を推進するキックオフ集

会を開きました。90人が参加しました。(写真上) 署名に取り組んでくれる人を5千人に広げ、目標達成をめざす方針を確認しました。

出雲・九条の会全県集会

「島根憲法九条の会ネットワーク」は1月30日、出雲市で全県交流集会を開催。60人が参加し、戦争法廃止署名の取り組みを交流しました。(写真下) 島根大学9条の会の関

鼓動

今年の参議院選挙から選挙権年齢が「十八歳以上」に引き下げられ、新成人と合わせ約366万人もの青年が新たに選挙権を得る。18歳の高校生も選挙に行くという新たな時代の始まりだ。若い世代の動向が参院選を左右すると熱く注目されている▼昨秋のNHK世論調査では18歳・19歳の6割以上が「投票に必ず行く」「行くつもり」と回答。民青同盟の新人アンケートでは「自分たちの手で決めたい。ちゃんと選挙に行つて政治への期待を込めたい」などの声が続々に寄せられた▼6日放送のBS Sテレビ「報道特集」は「18歳選挙権 悩む教育現場」をリポート。政治活動の校則での禁止も「不当ではない」とする文科省のやり方に、「どうして声をあげにくい社会にしていくなのか」ときつぱり語る高校生の姿が印象的だった。神奈川県の高校の授業で「模擬国会」を行い採決した結果、「集団的自衛権の行使」は「賛成10、反対29」で「否決」。話し合っても「賛成意見が出ないんです」と。政治が巨大な規模で動いていく可能性を感じた▼前述の新人アンケートで「政治や社会にのぞむこと」のトップは「いじめ、体罰をなくす」、2位は「ブラック企業・バイトの根絶」だった。若者たちが生きにくい社会になつていくことに胸が痛む。高学費の問題をとりあげた党の国会論戦にも大きな反響が寄せられた▼21日、戦争法に反対する高校生たち「ティーンズソウル」が呼びかけた全国一斉高校生デモが行われる。若い皆さんと熱く政治を語りあい、共に行動して政治を変えていきたい。(後)